

平成29年度 講座概要

Ver 2.0: 2017/ 2/ 6
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

| No | 講座No | 座学実習 | 講座カテゴリー | 講師 | 職位 | 講師の所属機関 | 講座日付 | 講座時間 | 講義題名 | 講義の概要 | 成績証明 | 受講証明 |
|----|------|------|-------------------|-------------|------------|--------------------|-------|---------------------|------------------------------------|--|----------------------------|--|
| 1 | - | - | - | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 4月11日 | 9:30-10:30 1h | ガイダンス | 地域特性を活用した「多能工型」研究支援人材養成拠点の本コンソーシアム事業の構想、目的、組織体制、教育プログラムの概要について説明する。また、外部参加の受講者のため、簡単な自己紹介も実施する。 | - | - |
| 2 | - | - | - | 受講者発表 (URA) | - | - | 4月11日 | 10:40-12:40 2h | 各URAより、ミッションと現在の取り組みについてのプレゼンテーション | 教育プログラムの集中講座に参加している研究支援者 (URA) から、所属機関の研究支援活動についてプレゼンテーションを行い、大学間の情報交流を行う。 | - | - |
| 3 | R01 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 4月12日 | 9:30-11:00 1.5h | 安全保障貿易管理の仕組みと大学における体制構築 | 海外との研究交流においては安全保障貿易管理について理解し、法令に遵守した手続きに従って適切な輸出管理を実施しなければならない。講義は、基礎的な輸出管理に関する法律の枠組み、大学における安全保障貿易管理の関わりについて理解する。またリスト規制やキャッチオール規制、規制対象に該当した場合の対応方法について説明する。さらに大学の組織として十分機能する輸出管理体制をどのように構築すべきかを学ぶ。 この講義は4/13 に輸出管理のテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | 成績に関係なく、コンプライアンス・リスクマネジメントの座学講座 (R01,R02,R03,R04,R05,R06,R07) 全ての受講で発行 |
| 4 | R02 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 山之内 雄二 | 輸出管理マネージャー | 横浜国立大学 | 4月12日 | 11:10-12:40 1.5h | 大学における輸出管理実務について | 講義では、横浜国立大学が輸出管理業務の周知・広報活動の一環として、学内の全ての教員・外国人学生および外国人研究員等に配布した安全保障輸出管理ガイダンスの記載内容から、教育・研究活動に安心して専念するために必要な遵守事項の解説と、大学の輸出管理業務の現場で起きた事例を紹介し、その原因と事前防止策などを説明する。 | - | |
| 5 | R03 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 井上 歩 | 所長 | 一般財団法人バイオインダストリー協会 | 4月11日 | 15:20-16:50 1.5h | 生物多様性条約及び名古屋議定書について | 海外の遺伝資源にアクセスする場合、生物多様性条約について理解し、提供国の関係法令を遵守しなければならない。講義では、基礎編として、生物多様性条約の下での遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS) の基本、名古屋議定書の概要について学ぶ。実務編では、用語の説明やABS関連法令等の調べ方など実践的な内容を習得する。 この講義は4/13 に理解度を把握するためのテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |
| 6 | R04 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 丹生谷 博 | 教授 | 東京農工大 | 4月11日 | 17:00-18:00 1h | カルタヘナ法について | 遺伝子組換え生物の使用等に関する法令は、研究者にとっても理解が難しい内容が含まれている。法令違反は大学や社会にとって重大な影響を与えるため、研究支援者も一定レベルの理解を有することが必要である。 講義では、カルタヘナ法の概要及び実際の運用について学ぶ。 また理解度把握のため、簡単なテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |
| 7 | R05 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 野内 玲 | 助教 | 信州大学 | 4月11日 | 13:40-15:10 1.5h | 研究支援者の立場から見た研究者倫理と対応の考え方 | URAの立場にある者は、研究者倫理におけるFFP (捏造・改訂・盗用) だけでなく、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等といったURAの業務に関連する様々な法令等の意味を考える必要がある。 本講義では、とりわけ社会に対する責任という観点から、研究者倫理とURAの業務の関係について理解を深める。 | - | |
| 8 | R06 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 新谷 由紀子 | 准教授 | 筑波大学 | 4月12日 | 13:40-17:40 4h | 大学における利益相反 | 本講座では大学において起こり得る利益相反問題とはどのようなものか、また、問題が生じた場合の影響など、利益相反に関する基礎的な知識を学ぶほか、大学における利益相反マネジメントにおいて先進的な米国の事例や日本の大学における利益相反マネジメントの現状などを紹介する。大学における利益相反マネジメントの在り方や対処方法について知識を深めてほしい。 グループ討議では具体的な利益相反事例を挙げ、その対応について議論し理解を深める。 また最後に、理解度を把握するためテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |
| 9 | R07 | 座学 | コンプライアンスリスクマネジメント | 飯田 香緒里 | 教授 | 東京医科歯科大学 | 4月13日 | 13:10-17:10 4h | 医学研究における利益相反 | 医学研究における利益相反はヒトを対象とする研究ということもあり、問題が発生した際の深刻さのレベルは一般的な利益相反より高いと考えるべきであり、より慎重に個々の事象を取り扱う必要がある。 講義では、医学研究の特殊性を理解しこの利益相反マネジメントの重要性とマネジメント体制について学ぶ。 グループ討議ではケーススタディについて具体的な対応方法について議論し理解を深める。 また最後に、理解度を把握するためテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |

平成29年度 講座概要

Ver 2.0: 2017/ 2/ 6
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

| No | 講座No | 座学実習 | 講座カテゴリー | 講師 | 職位 | 講師の所属機関 | 講座日付 | 講座時間 | 講義題名 | 講義の概要 | 成績証明 | 受講証明 |
|----|------|------|---------|--------------|-----------|--------------------------|-------|---------------------|---|--|-------------------------------|--|
| 10 | I 01 | 座学 | 知財管理・契約 | 小板橋 浩之 | 弁理士 | アクシス国際特許業務法人 | 4月17日 | 13:10-14:40 1.5h | 大学におけるノウハウ管理 | 大学で扱う知的財産には、特許権等にされていないノウハウ情報も含まれる。特に産学連携に携わる研究支援者には、産学連携のパートナーとなる企業の期待に応えるようなノウハウ情報(営業秘密)の管理と、学内での指導能力が求められる。 講義では、背景にある不正競争防止法を踏まえて、ノウハウとは何か?から始まり大学におけるノウハウ管理の在り方について解説する。 | - | 成績に関係なく、知財管理・契約の座学講座(I01,I02,I03,I05), 全ての受講で発行 |
| 11 | I 02 | 座学 | 知財管理・契約 | 川瀬 真 | 教授 | 横浜国立大学 | 4月14日 | 9:30-12:30 3h | 著作権 | 大学における著作権の問題が増え、盗作、委託作品における著作権の帰属、教育研究のために無断で著作物を利用できる範囲など、多くの問題を大学は抱えている。 講義では、まず著作権制度の概要を説明した上で、大学に関連した具体的な事例を取り上げ解説する。 この講義は 4/17 に著作権のテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |
| 12 | I 03 | 座学 | 知財管理・契約 | 安田 耕平 | 代表取締役社長 | 株式会社キャンパスクリエイティブ(電通大TLO) | 4月17日 | 14:50-17:50 3h | 技術移転と契約 part II | 産学官連携活動において、技術移転に関する知的財産の扱いや契約が重要である。 講義では、共同研究、受託研究の実態調査と現状の把握、また技術移転を進める上で効率の良い技術移転の進め方について学ぶ。 またグループ討議を実施し、大学技術移転に関する取り組みについて理解を深める。 | - | |
| 13 | I 05 | 座学 | 知財管理・契約 | 佐田 洋一郎 | 知的財産センター長 | 山口大学 | 4月14日 | 13:30-18:00 4.5h | 特許法と大学知財のかかわりについて | 特許法の基礎から応用、特許取得のノウハウをはじめとして、大学の研究活動で創出された知的財産の取り扱い、特に共同研究、受託研究での注意点、研究現場での混同しがちな著作者と発明者の認定問題、研究ノートを活用したリスクマネジメント等々について学ぶ。 この講義は 4/17 に特許法のテストを実施する。 | 講座を受講し テストで80点 以上で発行 | |
| 14 | F 01 | 座学 | ファンド申請 | 山口 佳和 | 教授 | 千葉工業大学 | 4月18日 | 9:30-12:00 2.5h | 日本の科学技術政策の概要 | ファンドは、日本の科学技術政策に基づいて、担当する組織やその制度が構築されている。このため、ファンドを申請、獲得、利用する上で、科学技術政策を理解しておくことが重要である。科学技術政策とは何か、科学技術政策の歴史、科学技術基本法、科学技術基本計画、科学技術政策の現状と課題について講義し、科学技術政策の基本的な知識を習得する。 また、科学技術政策の考え方に基いて、ファンドに関連する施策がどのように形成されているかについて、事例を取り上げて考察し、科学技術政策への理解を深める。 | - | |
| 15 | F 02 | 座学 | ファンド申請 | 津田博司 松尾浩司 | 室長 調査役 | 科学技術振興機構(JST) | 4月18日 | 13:00-14:30 1.5h | JSTの事業(さきがけ、CREST、社会技術研究開発)について | JSTが取り組む「戦略的創造研究推進事業」では、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術のシーズを創出することを目的として、幾つかのプログラムを有する。 講義では、その中のチーム型研究「CREST」、個人型研究「さきがけ」、社会の問題を解決するための研究開発を推進し、成果の社会実装を目指す「社会技術研究開発」にフォーカスし、詳しい事業内容について学ぶ。 | - | ファンド申請の座学講座(F01,F02,F03,F04)の受講かつ実習講座(F05,F06)の受講で発行 |
| 16 | F 03 | 座学 | ファンド申請 | 伊吹信一郎 | 主任 | 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) | 4月18日 | 14:40-16:10 1.5h | 研究開発型中堅・中小・ベンチャー支援事業のご紹介 | NEDOは経済産業省の外郭のファンディングエージェンシーであり、環境・エネルギーの分野を中心として非常に幅広い分野に対して研究開発に対する補助金事業をおこなっている。 本講義ではNEDO事業の概要及び、NEDOが取り扱う最新のファンドメニューについて学ぶ。 | - | |
| 17 | F 04 | 座学 | ファンド申請 | 東口 武史 | 准教授 | 宇都宮大学 | 4月18日 | 16:20-17:50 1.5h | JSPS申請書作成の要領について | 日本学術振興会の科学研究費の助成事業について、採択率を上げるための申請書作成のテクニックとして、作成のポイント、注意点、記述方法について学ぶ。 | - | |
| 18 | C 01 | 座学 | 企業活動 | 出川 通 | 代表取締役 | ㈱テクノ・インテグレーション(略称:TIG) | 4月19日 | 9:30-15:00 4.5h | 「実践MOTの基本と技術者のためのマーケティング入門」(新事業とイノベーションを起こすためのマネジメント手法) | 研究支援者が産学官連携に関わる場合、実践MOTに関する知識や企業の研究開発の考え方について理解する必要がある。 講義では、経営理論とMOTの基礎知識、MOTマーケティング、事業ライフサイクル、研究開発から事業化における戦略プロセスを学ぶ。 | - | 企業活動の座学(C01)の受講かつ実習講座(C02,C03)の受講で発行 |
| 19 | C 02 | 実習 | 企業活動 | 野上良太 | 代表取締役 | 株式会社野上技研 | 4月19日 | 15:10-18:10 3h | 第1回 企業活動理解能力向上 | この講座は、企業の経営者や幹部技術者を招き、研究開発体制や事業化する戦略について講義し、顕在的に発生している企業課題の解決方法についてグループ討議を実施する。 | 原則、年2回のレポート提出で発行 | |
| 20 | C 03 | 実習 | 企業活動 | 未定 | 未定 | 未定 | 10月予定 | 未定 | 第2回 企業活動理解能力向上 | 講義後、課題について考察しレポートを提出する。 | レポートに問題がある場合、評価者が不合格とする場合がある。 | |

平成29年度 講座概要

Ver 2.0: 2017/ 2/ 6
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

| No | 講座No | 座学実習 | 講座カテゴリー | 講師 | 職位 | 講師の所属機関 | 講座日付 | 講座時間 | 講義題名 | 講義の概要 | 成績証明 | 受講証明 |
|----|------|------|------------|-------|----|---------|------------------|------|---|--|---|--|
| 21 | F05 | 実習 | ファンド申請 | 未定 | 未定 | 未定 | 課題:5月提出:7月評価:9月 | 未定 | 第1回 ファンド申請 リライト作業 | 研究支援者は、科学技術基本計画から日本の科学技術政策の流れを理解し、個々のファイディングのメニューに合った申請書にする必要がある。この実習講座は、JSPSの申請書からJST, NEDOのファイディングメニューの申請書に書き換え作業を実施する。 | 原則、年2回のリライト作業で発行 リライト作業で趣旨の異なる申請書の場合は不合格とする場合がある。 | ファンド申請の座学講座 (F01,F02,F03,F04)の受講かつ実習講座 (F05,F06)の受講で発行 |
| 22 | F06 | 実習 | ファンド申請 | 未定 | 教授 | 未定 | 課題:11月提出:1月評価:3月 | 未定 | 第2回 ファンド申請 リライト作業 | リライト作業された申請書は当該事業趣旨に合致したものになっているか、十分に訴求する内容になっているかなどの観点から、評価委員と申請書を提供した研究者が評価する。 | | |
| 23 | S01 | 実習 | 研究活動 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 6月予定 | 未定 | 第1回 研究活動 把握能力 (学内の研究者 インタビュー) | 研究支援者は、大学の研究内容だけでなく研究者のポリシーやスコープに対して一定のレベルの理解が必要である。 この実習講座は、大学の研究活動の特色を見出した上で、研究者インタビュー者を選定し、年間8回(うち4回は他大学)の大学研究者へのインタビューを実施し、レポートにまとめ発表を行う。年間4回の発表会に参加し、他の研究支援従事者と結果を共有する。 年に1回、論文を一定時間内に読み内容を把握し概要を纏めるといった、論文テストを実施する。 | ①8人の研究者インタビューを実施しレポートを提出 ②論文テストで間違った記述をしていないこと ①、②で発行 | 研究活動実習講座 (S01,S02,S03,S04)の受講かつ論文テストの受講で発行 |
| 24 | S02 | 実習 | 研究活動 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 8月予定 | 未定 | 第2回 研究活動 把握能力 (学外の研究者 インタビュー) | | | |
| 25 | S03 | 実習 | 研究活動 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 11月予定 | 未定 | 第3回 研究活動 把握能力 (学内の研究者 インタビュー) | | | |
| 26 | S04 | 実習 | 研究活動 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | H30.1月予定 | 未定 | 第4回 研究活動 把握能力 (学外の研究者 インタビュー) | | | |
| 27 | P01 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 5月予定 | 未定 | 第1回 プロジェクト 調整能力 | プロジェクトは、企画立案、プロジェクトに関する契約の構築、契約に基づいたプロジェクトの実行の3段階のプロセスがある。研究支援者は異セクター同士が連携するプロジェクト(学際領域研究を含む)を遂行する上で、常に研究者と企業との関係を構築し互いのコミュニケーションを密にする必要がある。 この実習講座は、事例報告やOJTの結果を受講生同士で共有化し、グループ討議と発表を行う。そして受講生間で互いに評価し、プレゼンテーションから指摘、気づきを与え、研究支援活動の調整能力向上を図る。 年間6回、OJT活動報告、グループ討議を実施する。 | 6回の受講とレポートの提出で発行 | プロジェクト調整能力実習講座 (P01,P02,P03,P04,P05,P06)の受講で発行 |
| 28 | P02 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 7月予定 | 未定 | 第2回 プロジェクト 調整能力 | | | |
| 29 | P03 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 9月予定 | 未定 | 第3回 プロジェクト 調整能力 | | | |
| 30 | P04 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | 12月予定 | 未定 | 第4回 プロジェクト 調整能力 | | | |
| 31 | P05 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | H30.2月予定 | 未定 | 第5回 プロジェクト 調整能力 | | | |
| 32 | P06 | 実習 | プロジェクト調整能力 | 伊藤 正実 | 教授 | 群馬大学 | H30.3月予定 | 未定 | 第6回 プロジェクト 調整能力 | | | |

平成29年度 実習講座の日程

| 実習講座 | H29 | | | | | | | | | | H30 | | | 備考 |
|--------|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|-----|---|---------------------------|----|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| ファンド申請 | | 課 | → | 提 | → | 評 | | 課 | → | 提 | → | 評 | 課: 課題提示 提: 提出 評: 評価 | |
| 研究活動 | | | ● | | ● | | | ● | | ● | | | 事前インタビュー | |
| 企業活動 | ● | | | | | | | ● | | | | | 4月は座学と同時 | |
| PJ調整能力 | | ● | | ● | | ● | | | ● | | ● | ● | 事前レポート | |